

天井カセット形スタンダードタイプ

Table with columns for model numbers (e.g., LGH-15CS6) and voltage specifications (100V, 200V).

据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。据付工事は、必ず専門の工事店にて実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客様に必ずお渡しください。

この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

Warning section with icons and text. Includes '警告' (Warning) and '注意' (Caution) symbols. Text describes risks of incorrect installation, electrical safety, and handling instructions.

Caution section with icons and text. Includes '注意' (Caution) symbol. Text describes risks of high temperature, fire, and handling instructions for the unit.

Request section with icons and text. Includes 'お願い' (Request) symbol. Text describes environmental conditions for use, dust prevention, and specific requests for installation.

外形寸法図

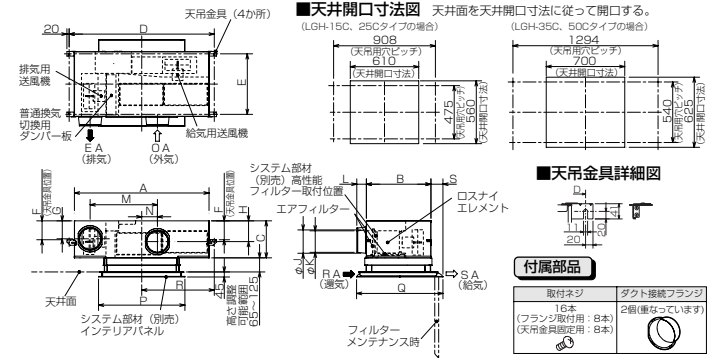
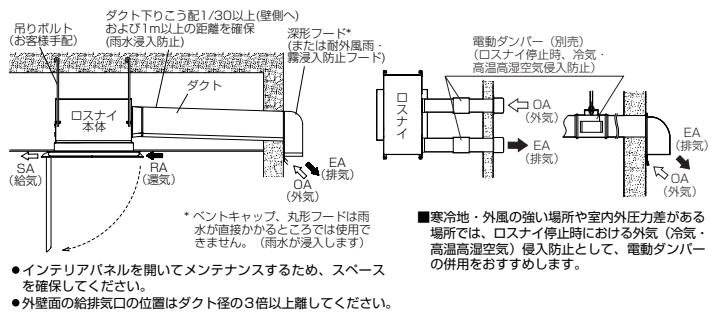


Table with columns for model name, dimensions (A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, Q, R, S), and weight. Lists models like LGH-15Cタイプ and LGH-35Cタイプ.

標準据付例



本体の据付け

据付工事の流れ



システム部材 (別売) インテリアパネル (天井カセット専用) の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

Step 1: Duct connection. Includes diagrams and text about attaching the duct connection flange to the unit body.

Step 2: Suspension hardware. Includes diagrams and text about loosening the suspension hardware and leveling the unit.

Step 3: Washer and nut attachment. Includes diagrams and text about attaching washers and nuts to the suspension hardware.

Step 4: Body fixation. Includes diagrams and text about attaching the unit body to the suspension hardware.

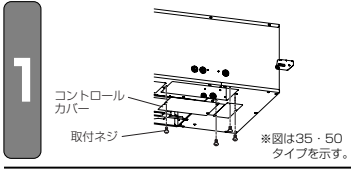
Step 5: Duct connection. Includes diagrams and text about connecting the duct to the unit and sealing it.

Additional notes and diagrams. Includes text about sealing the duct and ensuring proper installation.

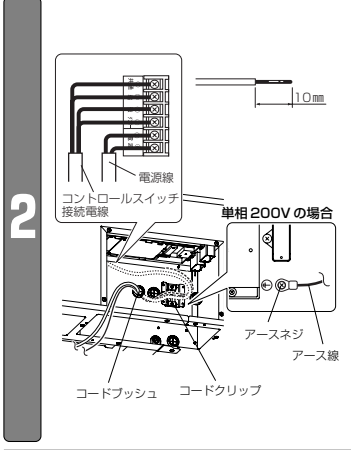
電気工事

警告

- 定格電圧、制御容量範囲内で使用する
間違った電源を使用すると、火災や感電の原因。
- 電気工事は、電気工士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および、**据付工事説明書に従って据付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する**電源回路容量不足や取付不備がある感電、火災の原因。
- 端子台接続部は指定の電線を使用して、**抜けないよう確実に接続する**
接続に不備があると火災の原因。



ネジ4本をはずして、コントロールカバーをはずす



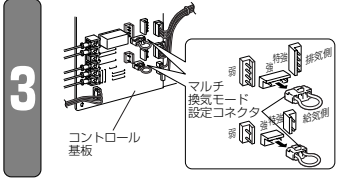
1 電源線およびコントロールスイッチ接続電線をコードプッシュに通してコードクリップで固定する

●電源線は長さ之余裕を持たせてください。メンテナンスができなくなります。

2 電源線およびコントロールスイッチ接続電線(単線φ1.6 例VVF)は結線図を参照して端子台に接続する

- 電線の皮むき寸法は10mmとする。
皮むき寸法が長すぎると芯線同士が接触して短絡するおそれがあります。
- ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は、100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)

3 単相200Vの場合、アース工事をする
締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。



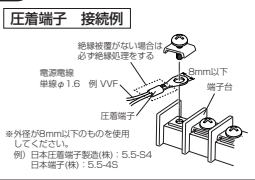
マルチ換気モード設定を行う

- 1 使用用途に応じてマルチ換気モード設定コネクタを差し換える。(結線図を参照)
 - 工場出荷時は「強」になっています。
 - 給・排気それぞれ差し換え可能です。
- 2 結線が終わったら元通りコントロールカバーを取付ける。

端子台接続時のご注意

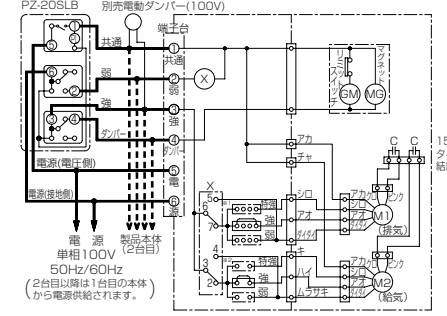
注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する
使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります



結線図 ※太線および破線部分を結線します。漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

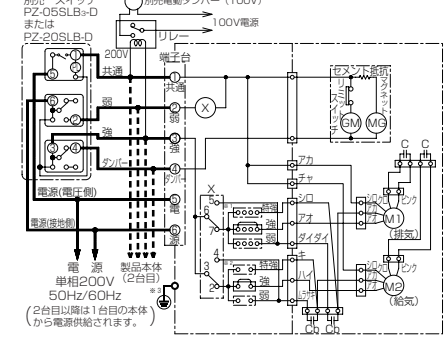
LGH-15CSs・25CSs・35CSs・50CSsの場合



電源は1つの漏電ブレーカーから供給する

各ロスナイに漏電ブレーカーを1個ずつ設置すると、漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ、漏電ブレーカーがシャ断する可能性があります。

LGH-15CSsD・25CSsD・35CSsD・50CSsDの場合



電源は1つの漏電ブレーカーから供給する

各ロスナイに漏電ブレーカーを1個ずつ設置すると、漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ、漏電ブレーカーがシャ断する可能性があります。

共通注意事項

- ※1: 排気側マルチ換気モード設定コネクタ(工場出荷時は強になっています)
 - ※2: 給気側マルチ換気モード設定コネクタ(工場出荷時は強になっています)
 - ※3: 単相200V電源の場合アース工が必要です。
 - 設定コネクタ差し換え時には必ず電源を落としてください。
 - ⑥ダンパーは本体内の「ロスナイ換気/普通換気」切換ダンパーです。
 - 本体設定コネクタにより、下表換気モードの選択が可能です。
- | コントロールスイッチ | 強 | 弱 | 弱 | 弱 |
|------------|---------|--------|--------|---------|
| 設定コネクタ 給気側 | 強(特強) | 弱 | 弱 | 弱 |
| 設定コネクタ 排気側 | 強(特強) | 弱 | 強(特強) | 弱 |
| 換気モード | 【ワ-給排気】 | 【ワ-給気】 | 【ワ-排気】 | 【省エネ換気】 |
- ※本体設定コネクタを両方とも弱に設定すると、コントロールスイッチの強/弱により省エネ換気固定となります。
- LGH-15CSs(D)・25CSs(D)には特強ノッチはありません。コネクタを強・弱以外には差さないでください。

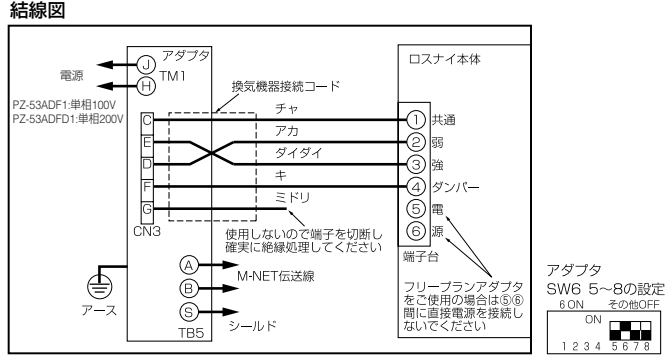
複数台運転可能台数

単相100V	形名	台数	単相200V	形名	台数
PZ-05SLB3またはPZ-20SLB1台で右表の同一機種複数台運転ができます。	LGH-15CSs	10	PZ-05SLB3-DまたはPZ-20SLB-D1台で右表の同一機種複数台運転ができます。	LGH-15CSsD	10
	LGH-25CSs	6		LGH-25CSsD	6
	LGH-35CSs	4		LGH-35CSsD	4
	LGH-50CSs	3		LGH-50CSsD	3

メモ ●異機種組み合わせ複数台運転については、カタログ・仕様書を参照ください。

システム部材(別売)フリーランアダプタ(PZ-53ADF(D)1)使用の場合

製品に直接取付けることはできません。吊りボルト等に取付けてください。詳しくはフリーランアダプタの説明書をご覧ください。



据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表にしたがってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。

試運転前に下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス☑をチェック願います。

- (1) 製品据付チェック
 - 室外側ダクト2本には断熱材を巻き付けてありますか? 【本体の据付け⑤ 参照】
 - 室外側ダクトは壁側に向かって1/30以上の下りこう配を確保していますか? 【標準据付例 参照】
 - 室外側ダクトは1m以上の距離を確保していますか? 【標準据付例 参照】
- (2) 電気工事チェック
 - 電源と本体形名、コントロールスイッチの組み合わせは正しいですか? 【試運転 組み合わせ表 参照】
 - 接続電線は結線図通り結線されていますか? 【標準据付例 参照】
 - 接続電線の端子台への接続は確実ですか? 【電気工事② 参照】
 - 接続電線の固定は確実ですか? 【電気工事② 参照】
 - 基板上的コネクタのはずれはありませんか? 【電気工事② 参照】
 - (200V機種の場合) アース線の接続は確実ですか? 【電気工事② 参照】
- (3) 機能設定チェック
 - マルチ換気モード設定コネクタの接続は正しいですか? 【電気工事③ 参照】

※初期不具合を防止するため、必ず据付工事後の確認を実施いただき、お客様にお渡し願います。

試運転

本体の据付工事が終わりましたら、天井板を張る前に結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

組み合わせ表

電源	本体形名	コントロールスイッチ形名
単相 100V	LGH-15~50CSs	PZ-05SLB3またはPZ-20SLB
単相 200V	LGH-15~50CSsD	PZ-05SLB3-DまたはPZ-20SLB-D

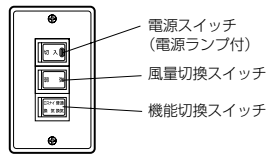
●ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。

必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

項目	手順
① コントロールスイッチ	電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「弱」・機能切換スイッチを「普通換気」にする。
② 抵抗の測定 (ロスナイ本体)	ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て抵抗を測定する。 ほぼ0kが出るかと誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。

元電源を入れ次の確認を行う。

システム部材(別売)コントロールスイッチ



注意

試運転中に羽根の中に指や物を入れないが原因

- 1 電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強・弱」切り換えたとき、ロスナイの給・排気の風が「弱」に切り換わるか確認する。
 - 2 機能切換スイッチを「普通換気」・「ロスナイ換気」に切り換えたときロスナイ本体内のダンパーが切り換わるか確認する。
- 詳しくは、コントロールスイッチに付属の説明書をご覧ください。

パネルの取付け

システム部材(別売)インテリアパネルの据付工事説明書に従って取付ける。